

# やすらぎだより

7  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

コラム第133号

## 「もったいない」

施設長 植田 誠



3月末に温冷配膳車を導入した。既に多数の施設が活用されている中、ようやくである。言うまでもなく温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で提供でき併せて新たな専用の食器や蓋も付き、今のところはすこぶる好評だ。

反面、温度管理が大変で食していただく時間によっては、表面が乾いて特に魚などはパサパサしてしまい食べにくくなる時もあるという。よーいドン、一斉スタートではない現在、個々のペースに合わせる工夫は更に必要である。

「ごはん粒が茶碗のへりにこびり付いて、取りにくいなあ」

ゆっくりゆっくり食し乾燥時間が長ければ長いほど、こびり付く最後のごはん粒をかき集めるのは容易ではない。その方は、最後は決まってお茶をかけそして時間をかけ、箸先に集中しながら丁寧に一粒一粒全てを完食される。

ご高齢の方は異口同音‘もったいない’精神が旺盛で、食べ物のありがたみが沁みついておられる。‘美味しさ’は勿論、少なくとも温冷配膳車等で極められる‘適時適温’を追求するだけでは、真の満足は得られないのであろう。

ひながたの教えの元で育った私も、人生のこだわりとして体得しているつもりだ。

「菜の葉一枚でも粗末にせぬように」

亡き祖母が口をすっぱくして諭し続けたその言葉には、‘もったいない’を説かれる施設のご高齢者と同じく、生きぬく厚みを教えていただいているように感じる。

ドイツの詩人ゲーテは言った。

「涙とともにパンを食べた者でなければ、人生の本当の味はわからない」  
こびり付く一粒の米からも、人生の深みは知り得るはずだ。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連連事業
- グループホーム むつみあい
- 天理市ひとり暮らし  
高齢者世帯等見守り事業
- 低所得高齢者等住まい・  
生活支援モデル事業